



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 もしもしホットライン
コード番号 4708 URL <http://www.moshimoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中込 純

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長

(氏名) 多田 雅彦

TEL 03-5351-7200

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	36,453	△14.2	1,532	△63.5	1,614	△62.0	1,030	△60.3
26年3月期第2四半期	42,466	△21.7	4,203	△54.0	4,252	△53.7	2,594	△51.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,093百万円 (△58.0%) 26年3月期第2四半期 2,603百万円 (△51.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	14.96	—
26年3月期第2四半期	37.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第2四半期	51,641	42,257	81.7	612.23
26年3月期	50,510	42,043	83.1	608.77

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 42,195百万円 26年3月期 41,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	14.00	—	15.00	29.00
27年3月期	—	14.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	75,000	△5.3	3,860	△29.2	3,920	△30.1	2,500	△27.6	36.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細につきましては、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	69,503,040 株	26年3月期	69,503,040 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	582,036 株	26年3月期	582,036 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	68,921,004 株	26年3月期2Q	68,921,004 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、消費税率引き上げに伴う反動がみられるものの、基調としては緩やかな回復を続けました。当社グループが属するBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）業界では、企業の構造改革やコスト削減推進による堅調なアウトソーシング需要に加え、一部では販売拡大に伴う発注量増加の動きが見られました。

こうした中、当社グループは製造、情報、流通向け業務が拡大する一方、前年同期にあった官公庁向け大型業務や公益向けスポット業務の終了、及び通信、放送向け業務縮小の影響を受け、連結売上高は36,453百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。

また利益面では、既存業務の収益性改善が進んだことに加え、新規獲得業務においてスムーズな立ち上げを実現できたことなどから、期初想定を上回る結果となりましたが、前年同期にあった大型業務終了の影響が大きく、当第2四半期連結累計期間の営業利益は1,532百万円（同63.5%減）、経常利益は1,614百万円（同62.0%減）、四半期純利益は1,030百万円（同60.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りです。

テレマーケティング事業

インバウンドサービスは、前年同期にあった公益向けスポット業務の終了や通信、放送向け業務の縮小といったマイナス要因を製造、情報、流通向け業務の拡大や官公庁向けスポット業務の獲得により補いました。この結果、同サービスの売上高は、21,240百万円（同2.6%増）となりました。

アウトバウンドサービスは、通信、放送向け業務縮小や前年同期にあった参議院選挙に伴う世論調査業務の剥落などの影響により、同サービスの売上高は、2,707百万円（同22.7%減）となりました。

テレマーケティング関連サービスは、前年同期にあった官公庁向け大型業務の終了の影響が大きく、同サービスの売上高は、8,844百万円（同38.6%減）となりました。

フィールドオペレーション事業

フィールドオペレーション事業は、訪問サービスにおいて業務効率改善による売上拡大などがあったものの、店頭サービスにおいて一部業務の縮小や採算性向上を目的とした選別受注を強化したことなどにより、同事業の売上高は3,318百万円（同7.1%減）となりました。

その他

主に連結子会社である株式会社ヴィクシアのデジタルマーケティング関連売上で構成されておりますが、その連結売上高は343百万円（同19.0%増）となりました。

なお、デジタルマーケティング関連サービスの売上高は、純額表示による方法を採用しておりますが、総額表示による方法を用いた場合、同サービスの売上高は、1,451百万円（同0.5%増）となります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、51,641百万円となり、前連結会計年度末比1,131百万円の増加となりました。これは新規業務獲得に伴う仕掛品の増加等によるものです。また、法人税等の還付や売上債権の回収により現金及び預金が増加しました。なお、その一部は、資金運用を目的とした資金の寄託（預け金）を行っております。

負債は、9,384百万円となり、前連結会計年度末比917百万円の増加となりました。これは未払消費税等の増加によるものです。

純資産は、42,257百万円となり、自己資本比率は81.7%となったことで、前連結会計年度末から1.4ポイント減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、14,115百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して5,885百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、3,665百万円（前年同四半期比711.8%増）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益が減少したものの、法人税等の還付が行われたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用したキャッシュ・フローは、3,876百万円（同259.0%増）となりました。これは主として、資金運用を目的とした資金の寄託(預け金)を行ったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用したキャッシュ・フローは、1,034百万円（同50.3%減）となりました。これは、配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月17日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準とし、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が239,054千円増加し、利益剰余金が153,855千円増加しております。また当第2四半期連結累計期間の連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,861,064	11,415,700
受取手形及び売掛金	9,218,998	8,699,915
仕掛品	1,228,094	1,653,279
貯蔵品	16,562	11,906
預け金	16,000,000	18,000,000
その他	2,544,711	1,451,252
貸倒引当金	△11,307	△9,681
流動資産合計	39,858,124	41,222,373
固定資産		
有形固定資産	2,018,289	1,807,328
無形固定資産		
のれん	91,857	67,848
その他	701,014	667,074
無形固定資産合計	792,872	734,923
投資その他の資産	7,840,826	7,876,890
固定資産合計	10,651,987	10,419,142
資産合計	50,510,112	51,641,515
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,513,662	1,311,694
未払金	4,858,384	4,249,855
未払法人税等	123,209	778,972
賞与引当金	488,953	546,817
役員賞与引当金	34,000	10,000
資産除去債務	19,132	22,687
その他	561,357	1,601,682
流動負債合計	7,598,700	8,521,709
固定負債		
役員退職慰労引当金	26,720	20,290
退職給付に係る負債	219,172	227,877
資産除去債務	622,462	614,603
固定負債合計	868,355	862,771
負債合計	8,467,055	9,384,481

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	998,256	998,256
資本剰余金	1,202,750	1,202,750
利益剰余金	40,397,812	40,548,836
自己株式	△592,315	△592,315
株主資本合計	42,006,503	42,157,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,595	73,303
為替換算調整勘定	△54	△1,148
退職給付に係る調整累計額	△39,018	△33,966
その他の包括利益累計額合計	△49,667	38,188
少数株主持分	86,221	61,317
純資産合計	42,043,057	42,257,034
負債純資産合計	50,510,112	51,641,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	42,466,053	36,453,502
売上原価	34,496,898	31,381,656
売上総利益	7,969,155	5,071,846
販売費及び一般管理費	3,766,091	3,539,358
営業利益	4,203,063	1,532,487
営業外収益		
還付加算金	2,415	24,933
受取配当金	12,897	18,741
受取利息	15,514	12,777
その他	28,525	28,889
営業外収益合計	59,353	85,341
営業外費用		
持分法による投資損失	5,501	—
為替差損	2,097	3,099
その他	2,197	81
営業外費用合計	9,796	3,181
経常利益	4,252,620	1,614,647
特別利益		
保険解約返戻金	14,366	6,690
その他	1,823	—
特別利益合計	16,189	6,690
税金等調整前四半期純利益	4,268,810	1,621,338
法人税、住民税及び事業税	1,273,649	830,439
法人税等調整額	442,489	△215,182
法人税等合計	1,716,138	615,257
少数株主損益調整前四半期純利益	2,552,672	1,006,080
少数株主損失(△)	△41,799	△24,903
四半期純利益	2,594,472	1,030,984

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,552,672	1,006,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,798	83,899
退職給付に係る調整額	—	5,051
持分法適用会社に対する持分相当額	1,951	△1,094
その他の包括利益合計	50,750	87,856
四半期包括利益	2,603,422	1,093,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,645,222	1,118,840
少数株主に係る四半期包括利益	△41,799	△24,903

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,268,810	1,621,338
減価償却費	512,504	398,148
のれん償却額	53,011	24,008
引当金の増減額(△は減少)	△267,098	25,598
受取利息及び受取配当金	△28,412	△31,518
売上債権の増減額(△は増加)	720,041	582,358
たな卸資産の増減額(△は増加)	45,546	△420,529
仕入債務の増減額(△は減少)	△412,916	△201,967
未払金の増減額(△は減少)	△578,848	△481,518
その他	196,141	786,932
小計	4,508,780	2,302,851
利息及び配当金の受取額	31,855	34,510
利息の支払額	△566	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,088,528	1,328,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	451,540	3,665,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△294,300	△155,406
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	200,000	500,000
預け金の増減額(△は増加)	-	△3,700,000
その他	14,441	△21,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,079,858	△3,876,725
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,065,871	△1,034,343
その他	△15,782	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,081,654	△1,034,343
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,709,972	△1,245,363
現金及び現金同等物の期首残高	22,711,320	15,361,064
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,001,348	14,115,700

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	テレマーケティング事業	フィールドオペレーション事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	38,605,083	3,572,223	42,177,307	288,745	42,466,053	—	42,466,053
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,589	12,425	16,014	20,954	36,968	△36,968	—
計	38,608,673	3,584,648	42,193,322	309,699	42,503,021	△36,968	42,466,053
セグメント利益 又は損失(△)	4,196,821	60,211	4,257,033	△53,971	4,203,061	2	4,203,063

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルマーケティング関連売上高を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	テレマーケティング事業	フィールドオペレーション事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	32,791,827	3,318,011	36,109,839	343,662	36,453,502	—	36,453,502
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,868	116,453	124,321	56,909	181,231	△181,231	—
計	32,799,696	3,434,464	36,234,161	400,572	36,634,734	△181,231	36,453,502
セグメント利益 又は損失(△)	1,468,013	99,445	1,567,458	△34,976	1,532,482	4	1,532,487

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルマーケティング関連売上高を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。